南郷里地域づくり計画（案）

南郷里地域づくり協議会（南郷里地域づくり計画策定委員会）

はじめに

（抜粋）

今回策定した「南郷里地域づくり計画」では、地域の現状や課題、そして将来を見据えて、これからの地域のまちづくりで最も重視すべき考え方として３つの基本理念を示しています。また、３つの基本理念の実現に向けた目標として、８つの基本目標を示し、それぞれの基本目標の実現に向けた取組として、取組方針と取組内容を示しています。取組内容の制定においては、地域住民の意向を反映すべく、住民アンケート調査を実施し、その結果を勘案して制定しました。

今後は、これらをもとにしてまちづくり活動を着実に推進していかなければならないと考えています。

第１章　地域づくり計画について

策定の趣旨

現行の地域づくり計画である「南郷里地域づくり基本方針」は、平成２６年４月に策定され、その中に「当方針は５年間を目途としており、平成３１年度に見直す。」とあります。また、内容的にも制定後に部会制を導入し、自らが事業を実施する組織となったこと、平成２９年度に実施しました自治会および自治会で活動されている諸団体関係者のヒアリングを報告書「地域のヒアリングから見た南郷里地域の姿」にまとめましたが、そこに記載しています地域課題に的確に対応することが求められていますことから見直しが必要となっています。

計画の実施期間	令和元年度～令和５年度

第２章　南郷里地域の将来像

（１）現状と課題

ア　地域の特徴

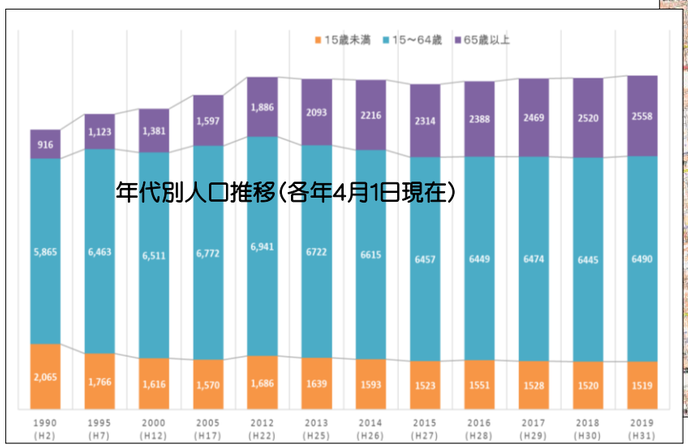
・合併前の旧長浜市の中央に位置している。広範な平野部が占める。
・東西南北の約３ｋｍ内にすべての自治会が収まり、まとまった形状のエリアである。（右図のとおり）
・世帯数、人口（外国人を除く）は、約3，７００世帯、約１０，０００人である。
（ 南郷里地域全体の年代別人口の推移は右グラフのとおり）
・北陸自動車道を境に異なる顔がある。
　西側は、住宅、商業、工業地域が広がる。
　東側は、自然、田圃、農村地域が広がる。
・道路網、バス路線網は、かなり整備されている。
・福祉、教育施設は充実している。
・地域の面積の半分が農用地で、農業が盛んである。
・古代の遺跡や文化財など、歴史的資源多く、昔から栄えてきた地域である。
・神社祭礼、オコナイ、地蔵盆など伝統行事が継承されている。

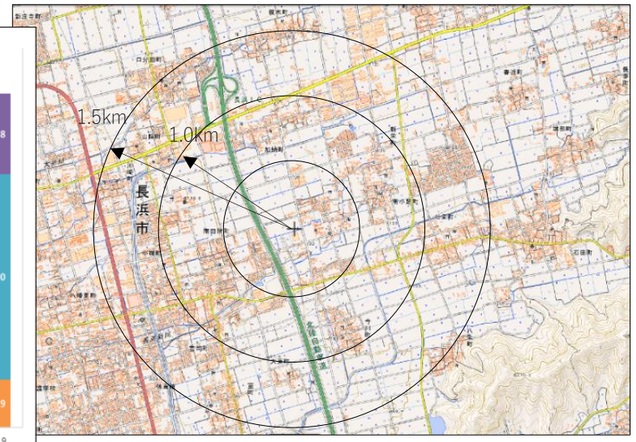
イ　自治会事情

・人口、世帯数は、北陸自動車道西側の自治会で増加しており、東側の自治会では、横ばいか減少している。
・高齢化率は、全体では２４％程度であるが、戦後できた新町の自治会では高くなっている。
・若い世代の流出や独居高齢者の増加で、地域活力の低下傾向がうかがわれる。
・北陸自動車道西側の自治会では、アパートや新興住宅が増加している。
・それぞれの自治会では、役員の選び方などを創意工夫されて役員の登用に取り組まれているが、適任者不足、人材の固定化、高齢化により、自治会役員やリーダーの確保に苦慮されている。
・自治会にある女性会（婦人会）などの地域団体の維持が難しい。
・自治会の運営や事業立案などで、住民の高齢化や意識の違いなどで苦慮されている。
・自治会ではひとり暮らしの世帯や空き家といった気がかりな世帯が増加しつつある。
・高齢者の買い物や通院などの交通手段で、不便と感じておられる地域がある。
・河川清掃、墓地管理、防火応援等で自治会同士の協力関係がある。

ウ　分野別事情

・自主防災組織、防犯組織の有無や活動状況において、自治会間で取り組みに差がある。
・自然環境では、北陸自動車道の西部で減少してきている。
・自治会や自治会の諸団体では、団体加入や事業参加の面で課題を抱えている。
・まちづくり団体は、一部の自治会にあるのが現状である。
・住民交流や連帯感が低下していることがうかがえる。
・地域での見守り、支え合いや生活支援など福祉ニーズが高まりつつある。
・歴史遺産や文化財も多く、伝統行事も続けられているが、後継者探しやその方法に課題を有する。
・農業、商業、観光の振興を考えていく必要がある。





（２）基本理念

南郷里地域の現状や課題、そして将来を見据えて、これからの南郷里地域のまちづくりで最も重視すべき考え方を基本理念として次に示します。

基本理念１

いつまでも住み続けたくなるまち　南郷里

誰もが、安全・安心・快適に住み続けることができるような生活環境を整えます。

災害に対する防災力や犯罪などに対する防犯力を高め、住民が守られるまちをめざします。

恵まれた自然環境や数多くの歴史や今に伝わる伝統文化などを活かしていきます。

基本理念２

個性と魅力を感じるまち　南郷里

南郷里ならではの地域資源を見つけ、内外に発信するとともに保全や育成を進めます。

地域資源を活かした学びの場や遊びの場などを作り、住民や来訪者が魅力を感じるまちにします。

基本理念３

連携と協働により発展するまち　南郷里

まちづくりにおける人やものづくり、情報発信や交流促進、文化芸術や産業の振興などを、南郷里を一つの家族と捉え、家族が見せるさまざまな考え方、表情や行動、尊重と助け合い、学びと成長などに見立て、地域の発展をめざします。

第３章　地域づくり実施計画

（１）地域づくりの基本目標

既述の報告書「地域のヒアリングから見た南郷里地域の姿」の分野別地域事情の大項目をもとに次の８つの基本目標を立てました。基本目標は、前章に掲げる３つの基本理念の実現に向けた目標です。

基本目標１－１　暮らしを守るまちづくり

地域の誰もが安全で安心して暮らせる取組を進めます。

基本目標１－２　自然と共生するまちづくり

豊かな自然の保全と環境にやさしい取組を進めます。

基本目標１－３　福祉と暮らしの利便性のまちづくり

生活の中で高齢者福祉をはじめとする福祉や子育て、青少年健全育成などが受けやすい取組を進めます。
なお、第２期南郷里地区地域福祉活動計画（２０１９～２０２３年）が策定されており、それに基づき取組むものとします。

基本目標２－１　誇りと愛着の持てるまちづくり

地域資源である小堀遠州や総持寺などにかかる取組を進めます。

基本目標２－２　文化芸術スポーツのあるまちづくり

まちづくりセンターの文化ホールなど多機能性を持った取組を進めます。

基本目標３－１　コミュニティ形成が根付くまちづくり

自治会や地域団体の情報交換、交流などの取組を進めます。

基本目標３－２　活力のあるまちづくり

商業や農業、コミュニティビジネスへの取組を進めます。

基本目標３－３　参画と協働のまちづくり

まちづくりボランティア、まちづくり組織の育成と参加や交流、行政との協働の取り組みを進めます